

講演会「コミュニケーションツールとしてのデジタル化」

- ・ 日時：令和8年5月17日（日） 14：15～15：05
- ・ 場所：「緑窓館」（100周年記念館） 2階ホール
- ・ 演題：「コミュニケーションツールとしてのデジタル化」
－緑窓会の取り組み紹介－

<中島副会長>

緑窓会への会費納入額の減少により運営が厳しくなっていること、そのためにもデジタル化（アナログの良さも残しながら）により会報の郵送を減らしていきたいこととお話しさせていただきました。

<松原理事>

デジタル化のお手伝いをするようになった経緯、初めの一歩として常任理事間のコミュニケーションの活性化を目指したこと、今後の思い等についてお話しさせていただきました。

経緯としては、学年同窓会の開催時に緑窓会ホームページの使いづらさを感じたことから、前会長からの声かけもあり、緑窓会のデジタル化のお手伝いをするようになりました。デジタル化の初めの一歩として、デジタル化推進チームを設置し、今後の進め方を申し合わせた後、常任理事会の運営にLINE WORKS（LINEのビジネス版）を導入しました。これによりメンバー間の意見交換や事務局との連絡、会議資料の事前提示等に活用しコミュニケーションが取りやすくなりました。

今後、常任理事から理事、さらに全会員に向けてのコミュニケーション手段を検討していきたいと考えています。理事の皆様には協力をお願いをすることもあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

以下、当日のプレゼン資料の一部を掲載させていただきます

- ・ 資料1 デジタル化推進チーム申し合わせ
- ・ 資料2 デジタル化にあたり、まず始めたこと
- ・ 資料3 LINE WORKS導入の経緯

資料1 デジタル化推進チーム申し合わせ

＜最初に確認＞

- ◆デジタル化することが目的ではない
- ◆メンバー間のコミュニケーションを容易にし対面でなくても意見交換
- ◆手間がかかる業務を簡素化し、会費を有効活用

＜デジタル化の進め方＞

- ① デジタル化推進チーム(3名)でLINE WORKSにて意見交換
- ② 「非営利団体向け特別プラン」の申請と導入準備
- ③ 「非営利団体向け特別プラン」の審査不可ならフリープランで運営

資料2 デジタル化にあたり、まず始めたこと

< 常任理事会への提案 >

1. 常任理事会メンバー間のコミュニケーションの活性化
2. その手段 → **LINE WORKS(LINEのビジネス版)**の導入
3. 「非営利団体向け特別プラン」により無料で利用枠拡大
 - 共有ストレージ:5GB→**50GB**
 - 利用対象者 :30名→**1,000名**
4. 今後、常任メンバー以外にも利用拡大が期待できる

資料3 LINE WORKS導入の経緯

年月		内 容
2025年	9月	デジタル化推進チーム発足 第1回ミーティング 常任理事会で提案 大筋で了解
		デジタル化推進チームメンバーをLINE WORKSに登録(23回生LINEWORKSに仮住まい)
	10月	常任理事会でLINE WORKS(フリープラン/無料)の詳細を説明、導入了承
		LINE WORKSにグループ(常任理事会、デジタル化推進)を設定し、チャットスタート 各常任理事のログイン設定開始
		LINE WORKS「非営利団体向け特別プラン」の審査を申請
	11月	LINE WORKS「非営利団体向け特別プラン」適用承認(ユーザー枠拡大)
	12月	常任理事のメンバー登録(ログイン)完了
2026年	1月	常任理事会グループでのチャットが本格稼働